

1950年代、アメリカで若者たちによる体制への戦いが始まった。

彼らの武器は「言葉」。それがビート・ジェネレーションである。

そして詩集『吠える』によって、ビート・ジェネレーションを代表する存在となったのが
アレン・ギンズバーグだった。

ワタリウム美術館を創った初代館長・和多利志津子は、ギンズバーグと親交があり、
今回の「理由なき反抗」展に合わせて、10時間ものロングインタビューが公になった。
それを記念し、ギンズバーグと和多利志津子に捧げるポエジーの一夜を開催する。

アレン・ギンズバーグに捧げる

「詩の朗読会」

“Poetry Reading” tributed to Allen Ginsberg

ビート・ナイト!

BEAT NIGHT!

2018. 8.10(金) 19:30-21:30

会場：ワタリウム美術館

【第1部】 トーク「危機の時代のアレン・ギンズバーグ」

城戸朱理(詩人)、原成吉(獨協大学教授)、遠藤朋之(和光大学准教授)、ヤリタミサコ(詩人)

【第2部】 ギンズバーグに捧げる「詩の朗読会」

★朗読希望者を募集!(先着10人。1人5分以内を予定)

ゲスト:石田瑞穂、及川俊哉、広瀬大志、TOLTA

【参加費・定員】 2,000円

(ブックレット『アレン・ギンズバーグと和多利志津子の会話とインタビュー』付き。ドリンク別)

先着100人(うち朗読希望者は10人)

★観覧のみの方も朗読参加者も同料金

★ワタリウム美術館会員割引有:サポート会員50%引/アートパス会員20%引

【この日だけの特別展示】
ギンズバーグのオリジナル原稿
(和多利志津子がインタビューを行い、
ギンズバーグが加筆・訂正し、自ら
ワタリウム美術館へ持参した校正紙)

Q. You've just come back from Israel. What was it like?
A. Well, there's the old city of Jerusalem with its ancient walls, which are like a composite of two millennia of politics, synagogues, mosques, and many varieties of Christian churches. The muslim shops are closed, on strike, parts of the city are called occupied territories, and there's a curfew imposed by the Israeli army, and there's mutual paranoia. The Arabs are afraid that the Israelis want to expand and the Israelis are afraid that the Arabs want to drive them into the sea. Neither side recognizes the existence of the other so it winds up with little Arab kids throwing rocks at soldiers, and Israeli soldiers breaking arm bones of Arab protesters.
A large group of Israelis called "Peace Now" want to recognize the Palestine Liberation Organization (P.L.O.), and evacuate the occupied territories. In late January 1988 there was an anti-war Peace Now protest rally in the center of Tel Aviv, with 60,000 people. They asked me to speak also, so I read a poem called "Yahweh and Allah Battle." Yahweh is the name of the Hebrew god, and Allah is the name of the Moslem god.
In the long run, though, it's the United States that controls the Israeli political parties, because the Americans provide money to offset the Israeli deficit.

Q. What type of poem was it?

A. (INSERT TEXT, SEE ENCLOSED XEROX OF POEM)

ワタリウム美術館
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6
T:03-3402-3001 F:03-3405-7714
official@watarium.co.jp
東京メトロ「外苑前駅」(G03) 3番出口より徒歩8分
制作: マッドバンビ
後援: 思潮社

新刊『アレン・ギンズバーグと
和多利志津子の会話とインタビュー』
148x148mm 52頁 日・英 ¥500

アレン・ギンズバーグと和多利志津子の会話とインタビュー
1988年1月30日、ニューヨーク



好評につき会期延長
8月26日(日)まで開催



関連イベント

WATARI-UM
The Watari Museum of Contemporary Art



【申込方法】

件名「《8.10ギンズバーグ》参加申込」とし、
参加申込書〈1.申込者名/2.ご住所/3.電話番号/4. E-mail/5.会員番号(ワタリウム美術館会員の方)〉と朗読のご希望を明記して、
E-mail: order@watarium.co.jp まで送信頂き、併せて、下記の口座へ参加費をお振り込みください。
ご入金をもって受付完了となります。
★振込先:三井住友銀行 青山支店(普)1033281(名義)ワタリウム美術館
★ご入金の方へ(受付票)を開催日2日前までにE-Mailにて返信いたします(開催日2日前以降は、お振り込みでのご予約を終了させていただきます)
★参加申込は、ワタリウム美術館1F受付でも随時承っております。
《ご注意》▼定員になり次第、締め切ります ▼お申し込み・お振り込み後の受領確認の返信はいたしませんのであらかじめご了承下さい ▼定員を超えた場合のみご連絡させていただきます ▼ご入金後のお客様のご都合による返金はできませんのでご注意ください